

P 計画の基本事項				
基本目標	2 読書に親しむ環境づくり			
施策	(2) 資料の充実と効率的な活用			
施策の方向性	「大野城まどかぴあ図書館資料収集方針」及び「大野城まどかぴあ図書館資料選定基準」に基づき、各世代のニーズに応じた図書館の資料の充実を図ります。 また、図書館のリサイクル本や団体貸出を活用し、市内各施設の資料の充実に取り組みます。			
主な取組	①資料の充実			
	②団体貸出の促進			
	③図書のリサイクル			
成果指標	図書館の貸出冊数 (※電子図書館の貸出を含む。)	策定時点	目標値(R9)	
		783,794冊	793,000冊	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	図書館でのリクエスト受付	リクエストに対して提供した割合	89.2%	90%以上
主な取組の実施状況及び今後の方針	①資料の充実		達成状況	
	◆購入可能な資料は積極的に購入し、難解で他の利用が見込めない資料等は他図書館から取り寄せた結果、リクエストの約90%に対応することができた。(まどかぴあ図書館) ◆全学校の児童生徒と教職員から図書のリクエストを募集し、予算の範囲内で購入した。(教育振興課) ◆しあわせ電子図書館について、ライセンスの貸出回数上限や期限などを考慮しながらコンテンツを選書した。(まどかぴあ図書館) ◆ふるさと館において、発掘調査報告書や冊子を電子化するとともに、発掘調査報告書以外の資料の電子データをウェブサイトで公開した。今後はウェブサイトでの資料の公開を進めるとともに、令和5年度に寄贈を受けた資料の整理を進める。(心のふるさと館)		②期待どおり	
	②団体貸出の促進		達成状況	
	◆市内の教育機関及び地域団体に図書や備品の貸出を行った。今後もそれぞれのニーズを把握し、図書や備品の充実を図る。(まどかぴあ図書館)		②期待どおり	
	③図書のリサイクル		達成状況	
◆年3回除籍資料の配付への参加団体数が年々減少しているものの、市民に除籍資料の配付を行う等の方法により除籍資料を再活用することができた。除籍資料を有効に活用するため、企業や団体への除籍資料の提供について検討する。(まどかぴあ図書館)		②期待どおり		

C 評価	
推進委員会 評価	◆問題なく実施されている。取組によって課題は見受けられるものの、各主体で今後の方針も考えられている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。
検討が 必要な事項	◆なし
A 改善	
改善結果	